



## 2013年度からの料金戦略について

---

この度、「2013年度からの料金戦略」を策定しましたので、お知らせします。

詳細につきましては、別添資料をご覧ください。



# 2013年度からの 料金戦略について

---

2013年2月28日

新関西国際空港株式会社



# 1.我々が目指す空港像と基本コンセプト(経営戦略)

## 目指す空港像

「ワンエアポート」で、世界に開かれた、アジアのリーディングエアポート

## 基本コンセプト

「空を変える。日本が変わる」 空港のビジネスモデルの変革

## 3つのキーワード

「安全・安心を大前提として、」

「カスタマーズアイ」顧客目線で、

「シナジー」両空港の価値を最大化し、

「クリエイティブ」新たな課題に果敢に挑戦。

## 3つのステップ

STEP1.

補給金によらない自立した経営

STEP2.  
事業価値の最大化

STEP3.

コンセッション(完全民間運営化)

良質で効率的な空港サービスにより航空需要を増大させ、  
商業利益の拡大により事業価値を高める好循環を生み出す。



## 2. 戦略的成長プログラム(中期経営計画)の位置付け

◇アジアのリーディングエアポートを目指した

### 戦略的成長プログラム

- ・高い成長の実現とイベントリスクに大きく左右されない収益基盤の確立
- ・2015年度以降の更なる飛躍・進化を目指した戦略的取組み

「新関空モデル」の確立

2012年度

2013年度

2014年度

2015年度以降

高い成長  
の実現

- 空港運営会社として主体的に需要の拡大を図る。
- 高い収益性を確保し、事業価値を拡大する。
- 安全対策の徹底、環境保全への先進的な取組み、CSの追求等を積極的に実施する。
- 地方公共団体・経済団体等による支援プログラムとの連携を強化する。
- 高質の空港運営ノウハウを蓄積し、公共施設等運営権の設定(コンセッション)に向けた準備を着実に進める。

2012～2014年度に行った戦略的取組みを基盤として、事業価値の更なる向上

更なる飛躍・進化により新たなステージへ

戦略的  
取組み

第2ターミナル(LCC専用)整備

投資

供用開始

第3ターミナル(LCC専用)整備

投資

供用開始

FedExの拠点化

投資

供用開始

関空ターミナルビルリニューアル

投資

供用開始

伊丹ターミナルビル改修

投資

供用開始

# 3. 「戦略的成長プログラム」(2012～2014年度)



## 戦略的成長プログラム

### 【1】航空戦略

- ①旅客ネットワーク拡大戦略
  - LCCによる成長ネットワークの獲得(国際線のLCC就航割合25%)
  - FSCによる基本ネットワークの拡充
- ②貨物ハブ空港戦略
  - FedExを含む複数エアライン・フォワーダーの拠点誘致

### ③料金戦略

- 関空:国際線着陸料5%引下げ、増量割引、深夜早朝割引の拡充 等
- 伊丹:低騒音機代替促進制度

### ④アクセス改善

- 鉄道料金の低廉化、早朝深夜時間帯のアクセス拡充、両空港間アクセス改善の活用 等

### 【2】ターミナル成長

- ⑤「魅力ある商業エリア」の創造
  - OATグループとの連携、免税店増床等により関空の商業事業収入25%増(2011年度比)、伊丹ターミナルビルの改修
- ⑥伊丹関連用地の有効活用
  - 伊丹空港内外の遊休地の有効活用 等

### 【3】経営効率化戦略

#### ⑦経営効率化戦略

- 調達方法の拡大・改善等による運営見直し
  - ・エネルギーシステムの改善等による施設・システムの見直し
  - ・マルチオペレーションシステムの導入等による組織・体制の見直し
- ⇒2014年度までに、対2011年度比16億円/年の経営効率化

### 【4】安全安心、お客様満足向上、環境対策

- ⑧安全対策・お客様満足度向上
  - 保安検査の強化、防災設備更新等により、テロ・ハイジャック等の不法行為発生件数「0」の実現、島内における緊急情報伝達エリア100%確保 等
- ⑨環境先進空港(スマート愛ランド構想)
  - 太陽光発電の活用、水素燃料電池の利用の推進等により、環境への先進的な取組を実施

### 【5】空港運営ノウハウの活用

- ⑩国際事業展開(海外・事業連携室の設置)
  - 海外空港との連携強化、複数空港運営ノウハウを活かしたコンサルティング業務の事業化 等
- ⑪コンセッション実現
  - 早ければ2014年度にもコンセッションを行うため、マーケットサウンディング及び仕組の検討、先行手続き等の着実な実施(政府補給金を段階的削減し、15年度には政府補給金からの脱却)

## 2014年度 成長目標

**発着回数** : 30万回超  
**旅客数** : 3,300万人超  
**貨物量** : 101万トン  
**売上** : 1,500億円超  
**EBITDA** : 600億円超



(参考) ※平成23年度実績(伊丹の売上のみ平成22年度実績)

- ・発着回数:23.1万回=10.8万回(関空)+12.3万回(伊丹)
- ・旅客数:2,677万人=1,386万人(関空)+1,291万人(伊丹)
- ・貨物量:82.5万トン=71.2万トン(関空)+11.3万トン(伊丹)
- ・売上:1188億円=883億円(関空)+117億円(伊丹)+188億円(OAT)



## 4. 成長目標 <輸送量見通し>

### 発着回数

### 旅客数

2011年度 2012年度 2013年度 2014年度

2011年度 2012年度 2013年度 2014年度

23.1  
万回

26.0  
万回

28.5  
万回

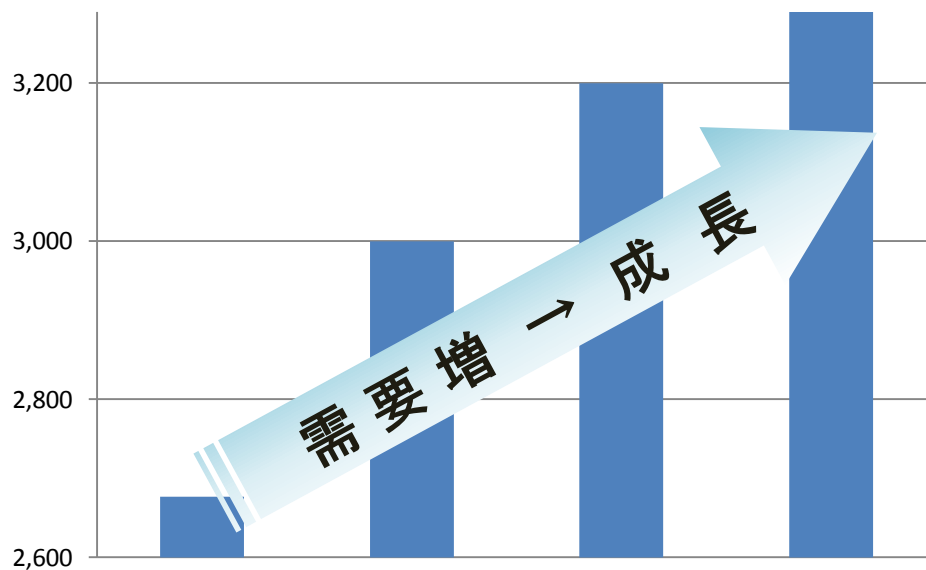
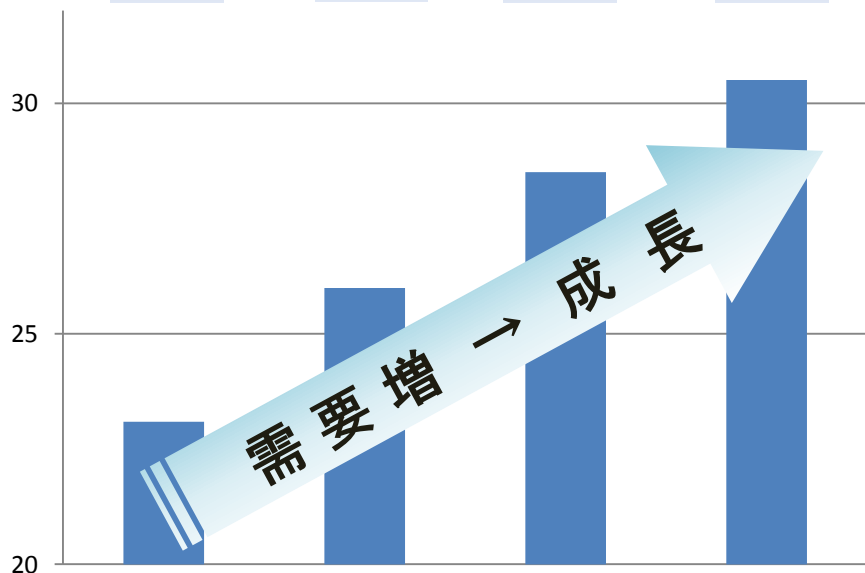
30.5  
万回

2,677  
万人

3,000  
万人

3,200  
万人

3,300  
万人



目標である高い成長の実現を支える、料金戦略を策定



# 5. 料金戦略の考え方

経営効率化による原資を活用して、マーケット重視の価格設定による空港関連コストの引下げ、航空会社の拠点化・需要拡大を促進する。

市場性を考慮した引下げ

国際線着陸料引下げ  
冬スケジュールから▲5%、更なる値下げを検討

需要増 → 成長

新規就航促進

増量割引拡充  
複数年化

深夜早朝割引  
旅客便への適用

便数増  
ネットワーク  
拡充

競争力強化  
→ 拠点化

BHS料金引下げ  
席数に応じた段階料金

※BHS:パッケージ・ハンドリング・システム

国内線ネットワーク割引  
内際機能強化

旅客数増

安全確保  
負担適正化

国際線保安料導入  
旅客数に連動した料金

国内線施設使用料  
旅客連動化  
旅客数に連動した料金

環境負荷低減のため、低騒音機材代替を促進し、周辺環境と調和を図った空港運営を徹底する。

環境対策

低騒音機誘導  
料金設定による誘導

環境負荷の低減

プロペラ枠の運用見直し



## 6. 各種料金について 【関西空港】

### (1) 着陸料(2013年夏期スケジュールから2014年冬期スケジュールまで<sup>(\*)</sup>)

料金戦略	内容
国際線着陸料5%引下げ	国際線着陸料 2,090円/t → 1,990円/t(△100円)
国際線、国内線 増量割引の拡充	航空会社別、国際線、国内線別及びスケジュール別で、同期間中に増加した着陸重量について以下の比率で割引 初年度80% 2年目50% 3年目30%
国際線、国内線 深夜早朝割引の拡充	同期間内で、1:00~5:59に着陸する国際線及び国内線の着陸重量を50%割引

(\*)国内線に係る増量割引等については2013年4月より2015年3月まで

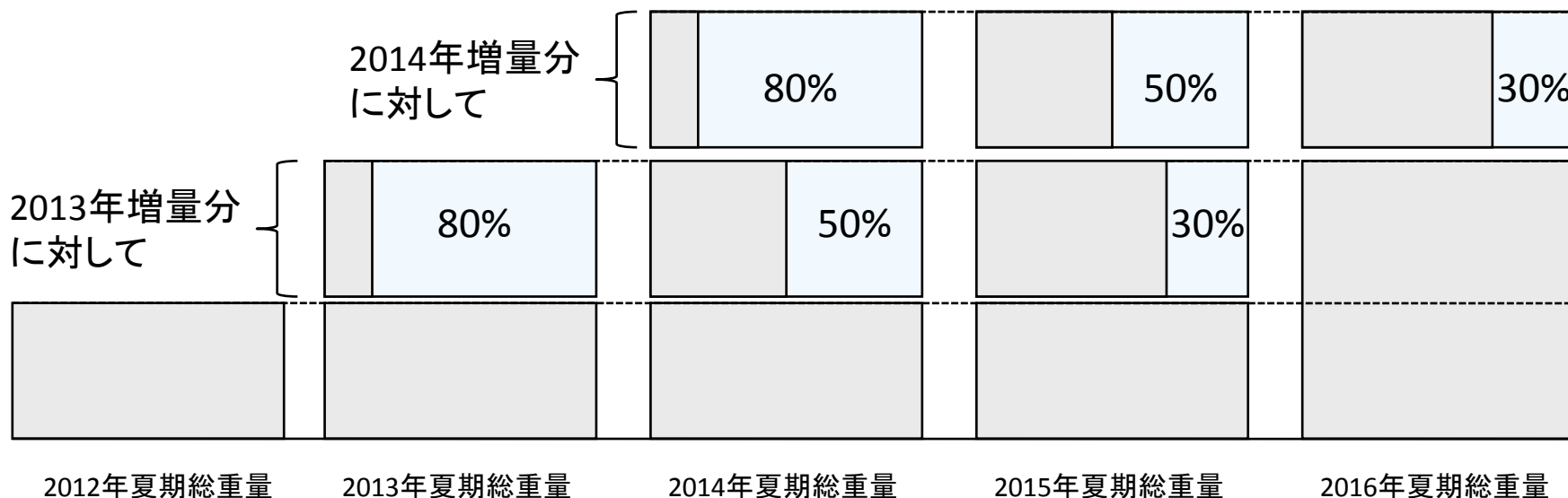




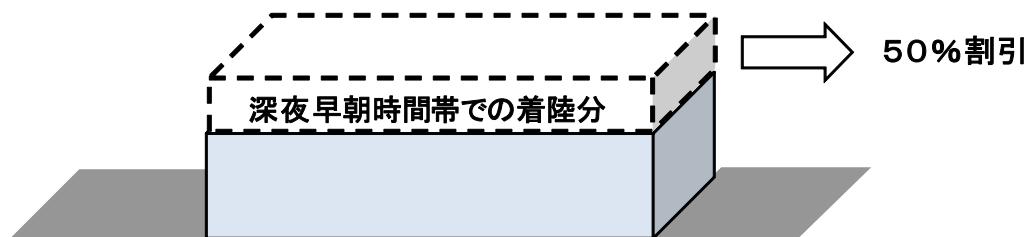
# 6. 各種料金について 【関西空港】

## 〔増量割引イメージ〕

同期間中に増加した着陸重量について以下の比率で割引  
初年度80% 2年目50% 3年目、30%



## 〔深夜早朝割引イメージ〕



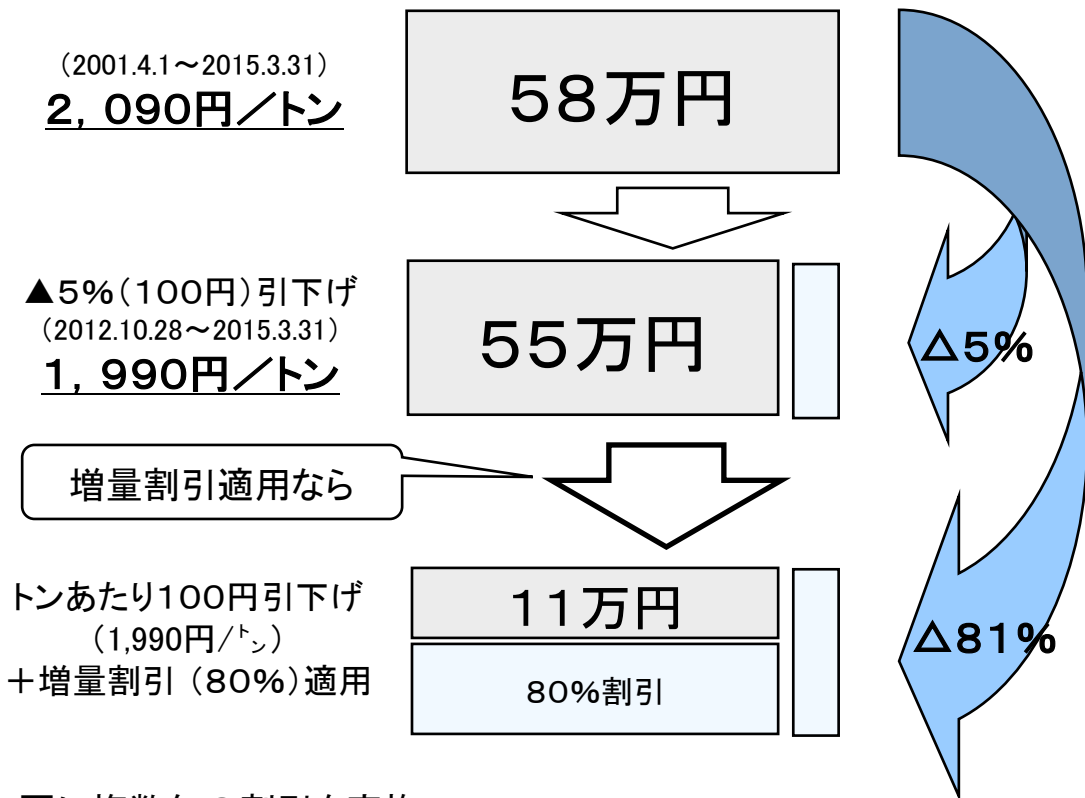
同期間内で、1:00~5:59に着陸する国際線及び国内線の着陸重量を50%割引

(当年同期着陸総重量)



# 6. 各種料金について 【関西空港】

参考：ボーイング777-200型(276トン)着陸1回あたり着陸料(新規就航または増便の場合)



\* 更に複数年の割引を実施

2年目(50%)27万円 3年目(30%)38万円

## 他主要空港の料金例 (2013年2月時点)

成田国際空港 52万円  
[平均単価 1,892円/トン]  
 (料金改定あり 2013年4月以降  
[平均単価 1,767円/トン] 49万円)

中部国際空港 46万円

仁川国際空港(韓国)  
(換算レート 100KRW=8.81円) 21万円

香港国際空港(香港)  
(換算レート HKD=12.46円) 23万円

チャンギ国際空港(シンガポール)  
(換算レート SGD=76.22円) 24万円



## 6. 各種料金について 【関西空港】

### (2) 手荷物取扱施設(BHS)使用料(2013年夏期スケジュールから)

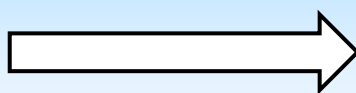
T1の国際線、国内線の旅客手荷物施設システム使用料を席数に応じた多段階の料金設定に見直し

	現行料金 101席以上同額	新料金			
		101席~	201席~	301席~	401席~
国際線	118,800	95,040	102,960	110,880	118,800
国内線(*)	43,200	34,560	37,440	40,320	43,200

(\*)国内線に係るBHS使用料改定については2013年4月より

#### 参考: ボーイング737-800型(144席)国際線1回あたりの料金

現行料金  
118,800円



新料金  
95,040円

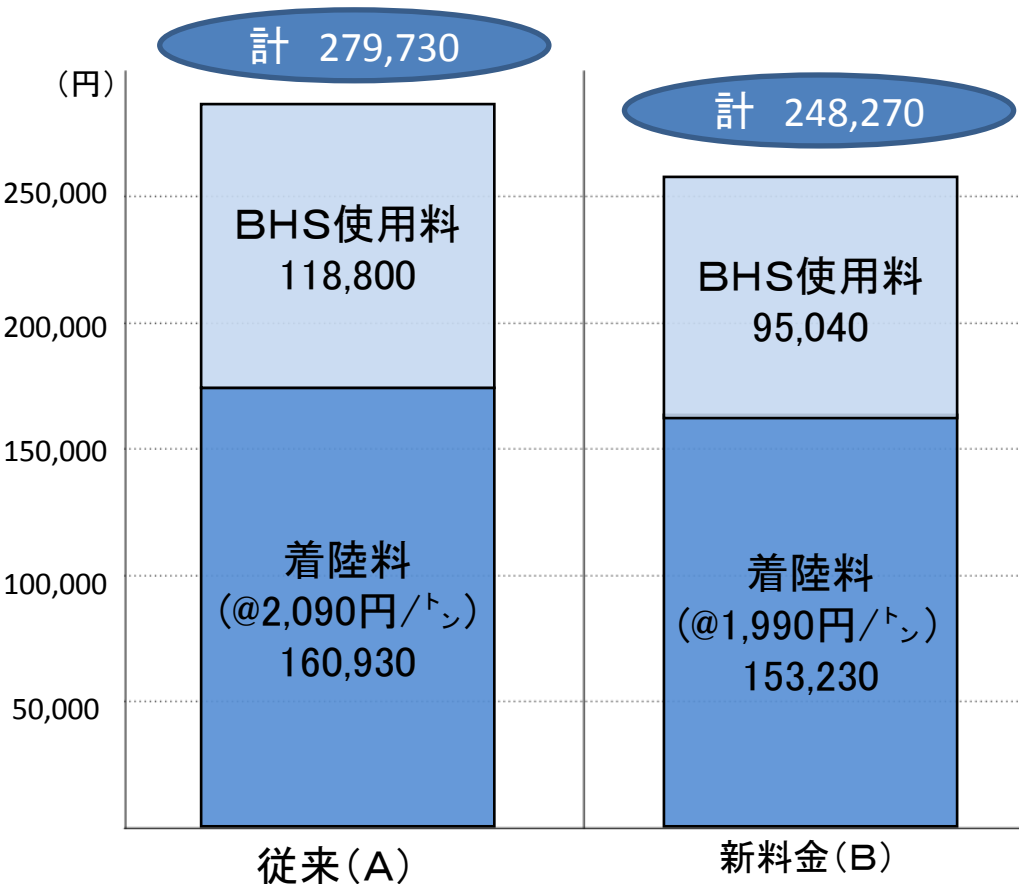
20%の引き下げ



# 6. 各種料金について 【関西空港】

## 料金見直しによる1便あたりに係る空港料金軽減イメージ

例) A320型(77トン/144席) T1 国際線運航



従来(A)と比較し、1便あたり  
(B)・・・△ 31,460円  
(C)・・・△154,044円の引き下げ  
  
(毎日運航の場合)  
(B)約11百万円/年  
(C)約56百万円/年  
の空港コスト低減効果

計 125,686

(新料金)

- ・国際線着陸料単価の▲5%(100円)引下げ @1,990円/トン (2012.10.28~2015.3.31)
- ・BHS使用料の見直し (2013年夏期スケジュールより)

新料金及び増量割引  
80%適用時(C)



## 6. 各種料金について 【関西空港】

### (3) 旅客保安サービス料(PSSC)

適用対象： 2013年6月1日以降、国際線で出国されるお客様

(ただし、2013年4月12日以降、発券されたお客様に限ります)

今後も、お客様にさらに快適かつ安心して関西空港をご利用いただけるよう、最高レベルの航空保安対策を維持充実するための費用をご負担いただく「旅客保安サービス料(PSSC: Passenger Security Service Charge)」を導入

#### 料金

国際線で出国されるお客様 300円/人(消費税込み) \* オンチケット方式

\* 従来のPSFC同様、お客様が航空券を購入される際に航空運賃に含めてお支払いいただきます。

#### (その他導入空港の料金例)

・成田国際空港	旅客保安サービス料(PSSC)	500円/人
・香港国際空港(香港)	空港保安サービス料(HKD 33.00)	約400円/人
・チャンギ国際空港(シンガポール)	旅客保安サービス料(SGD 8.00)	約600円/人



## 6. 各種料金について【伊丹空港】

### (4) 着陸料の改定(適用開始日2013年夏期スケジュールより)

周辺地域への環境負荷の低減を目指し、低騒音機材への代替を促進する料金に改定

#### 着陸料改定の概要

低騒音機材への代替を促進するため、機材毎の騒音値(実測値)の大きさに応じた一定の係数を既存料金に乗じたものに改める。但し、B773及びB772については、現状、低騒音の代替機材が限られていること等から、当面の間、暫定的に係数を1.0とする。

騒音値	騒音値 $\geq 81$	$81 >$ 騒音値 $\geq 80$	$80 >$ 騒音値 $\geq 79$	$79 >$ 騒音値
機材	B773、B77W、 B735	B763、B772	A320、B738、 B788(※)	B737
係数	$\times 1.2$	$\times 1.1$	$\times 0.9$	$\times 0.8$

※ B788については、低騒音機材での取扱いが未定のため、取扱いが決まるまでの間は、係数を1.0とする。



## 6. 各種料金について【伊丹空港】

### 着陸料の比較

#### 【ジェット機】

機材 (席数)	B773 (511)	B735 (128)	B763 (266)	B772 (389)	B738 (168)	B788 (313)	A320 (166)	B737 (120)
種別	Jet	Jet	Jet	Jet	Jet	Jet	Jet	Jet
騒音値	82.5	81.0	80.7	80.7	79.4	79.3	79.0	78.2
旧料金	598,760	135,382	317,516	485,656	172,620	415,134	169,002	141,896
新料金	同上※1)	162,458	349,268	同上※1)	155,358	同上※2)	152,102	113,517
差	-	27,076	31,752	-	-17,262	-	-16,900	-28,379

※1 B773及びB772については、現状、低騒音の代替機が限られていること等から、当面の間、暫定的に係数を1.0とする。

※2 B788については、低騒音機枠での取扱いが未定のため、取扱いが決まるまでの間は、係数を1.0とする。

#### 【リージョナルジェット機及びプロペラ機】

リージョナルジェット機及びプロペラ機については、係数(0.9)を乗じる。

機材 (席数)	DH8A (39)	DH8C (56)	E170 (76)	DH8D (74)	SF34 (36)	CRJ7 (70)	CRJ2 (50)
種別	Prop	Prop	RJ	Prop	Prop	RJ	RJ
騒音値	79.5	78.4	76.8	76.2	75.7	75.3	75.1
旧料金	6,010	8,370	54,550	14,270	4,830	51,790	29,600
新料金	5,409	7,533	49,095	12,843	4,347	46,611	26,640
差	-601	-837	-5,455	-1,427	-483	-5,179	-2,960